



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2011
10月号
No. 438

「織」を極める

人間国宝 北村武資展

北村武資は1935（昭和10）年に京都に生まれ、京都西陣で技術の習得に励み、59年に初代龍村平蔵展に感銘して龍村美術織物に入社。その後独立して森口華弘の主宰する染織工芸会に参加する。65年に伝統工芸日本染織展に初出品し日本工芸会会長賞を受賞した。72年に中国で発見された古代「羅」の写真を見て強い興味を抱き、以後繊細な織による羅に挑戦。古代織を再現し数々の優品を日本伝統工芸点に出品してきた。95年に「羅」が、2000年には羅と同じ紋織で密度の高い「経錦」が重要無形文化財に指定された。



亀甲花文経錦着尺
(部分)

今年制作60年を迎える北村武資は、古代織の再現に留まらず、現代に生きる織として新しい世界に挑戦し続けている。

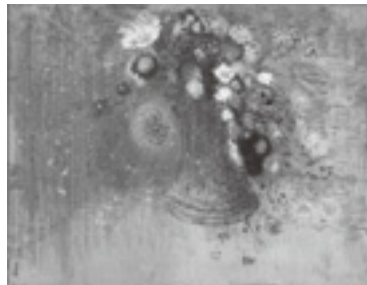
岐阜県立美術館所蔵

ルドンとその周辺 ～夢見る世紀末展～

オディロン・ルドン（1840-1916）は、19世紀末の西欧で古典写実主義に基づく西洋絵画の慣習を乗り越え、絵画の目的と自立性を絶えず問いかける、若い世代の尊敬を集める象徴主義の画家である。ルドンの孤独な芸術は、想像する側と鑑賞する側、双方に想像力を要求する20世紀モダニズムの芸術感を先取りする画家だった。またイリュージョンニズムに依存しない空間創造や墨を含む色彩の自立性など、絵画造形の面でも先端的だった。

自然主義全盛の時代に、あえて夢や幻想などの世界に踏み込んだルドン。

本展には岐阜県立美術館が所蔵するルドンの世界とともに、19世紀末象徴主義に至る画家たちの系譜を辿る。



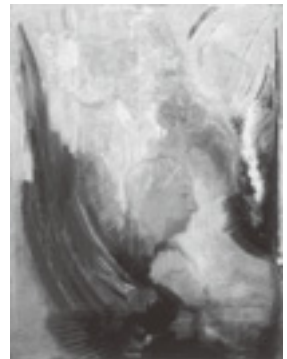
「青い花瓶の花々」1904年頃



「蜘蛛」1887年



経錦着物「蒼苑」



「翼のある横向きの胸像」
1898-1900頃

とき／9月16日(金)～10月30日(日) 9:30AM～5:00PM

ところ／京都国立近代美術館（祝日以外の月曜と10/11休館）
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4111

とき／10月15日(土)～11月13日(日) 10:00AM～8:00PM

ところ／美術館「えき」KYOTO（会期中無休）
京都市下京区京都駅JR京都伊勢丹7階隣接 ☎075-352-1111

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	「織」を極める 人間国宝 北村武資展 (祝日以外の月曜と10/11休館)																															
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	全館休館中															特別展覧会「細川家の至宝-珠玉の永青文庫コレクション-」 →11/23																
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭-山鉦の名宝- (9/10/2)・北観音山の名宝- (10/12-1/9) 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝1 (9/10-11/6) / 出土資料からみる平安京の世界 (9/8-11/13) (月曜休館)																														
	3F	創立65周年記念 京都工芸美術作家協会展 ～今日から明日へ～																														
	4F	帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展																														
	5F	絵巻・絵巻美術展 絵巻・絵巻美術展	琳派百因展	雪秀会能面展 2011京都大学写真部OB会 第7回京都展 書・花巻 原田輝太郎・西原松樹 第二十八回 龍安会書展	ベルフォーム シャドーボックス展	第13回 京都現代写真作家 展																	京の小袖 デザインに みる日本の エレガンス									
	6F	絵巻美術展 京都美術工芸作 家協会小品展	辛酉会書展																	第39回京都 シニア大学学園 文化祭	琴嶺会 書展	現代のきもの 「染と織の美」										
別館	ヤン&エヴァンジュヴァンクマイエル展 (後期) ～映画とその周辺～ (月曜休館) →11/7																															

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月		
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	フェルメールからのラブレター展															第26回国民文化祭京都2011										→11/6								
		再興第96回院展										ワシントン・ナショナル・ギャラリー展															→11/27								
	別館	第40回新作能画展 <small>京都市幼児・児童・生徒作品展</small>		第32回美工作品展					第100回公募墨人展					新制作展					京都市美術館コレクション 京都にさぐる美術の「こころ」					→11/15											
		第13回新陶彫京都展							第27回文化書道近畿連合会展					第24回国創展					関西春陽会展2011																
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第39回京水会丹青展		2011青美秋季展(洋画)					京都写真家協会展					七人の絵画展(洋画)					第31回陝西日本書画合同展					→11/6											
	2F	JISSO展(洋画)		京都現代水墨選抜展					第16回日本画展 さら					示現会京都作家小品展(洋画)																					
	3F	京都風交會かな書展(書)							草春会能面展					奥村泰三能・狂言面展																					
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		印象とアンフォルメル・具体・墨象-戦後の前衛																																	
①	何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		一瞬の劇場・Elliott Erwitt展																																
①	高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	中野嘉之展(日本画)		襲名記念 第十三代中村宗哲展					十二代三輪休雪てふてふ展					三木啓樂 漆芸展					世界の街 相笠昌義展(洋画)					→11/1										
		グランドホール	ジバング展										第58回日本伝統工芸展京都展					第29回京都新聞チャリティー美術作品展																	
①	大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	創作 博多人形展		名器誕生から200年 十五代辻常陸 極真焼の世界展					小川興 作陶展					通次阿山茶陶展					アンティーク オルゴール & ランプ展					→11/1										
		アートサロン																																	
		ミュージアム	武政健夫ガラス彫刻展 ~限りなき透明の世界~																																
①	中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		人間国宝 江里佐代子の伝言															石本正 -京都への想い-										→12/11							
①	並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展																														→12/11		
①	美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		生誕110年記念 荻須高德展										岐阜県美術館所蔵 ルドンとその周辺-夢見る世紀末展																				→11/13		
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
		土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月		
①	アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	20th 松田真理子個展					奥村圭子個展 ~緑の蔭に辿る道~					〇〇写真普及委員会 -阪神支部+カメラ					五次勝木彫展					→11/6													
		生田丹代子展(月曜休)										宮道知子展					松岡悠展(月曜休廊)					→11/6													
①	アトスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	多胡喜伸展		井上徹・山添耕治二人展					上野建三個展					吉田多鶴恵展 心象風景、花の小景					鶴田憲次展(月曜休廊)					→11/6											
		染谷聡個展(漆)「うらがえりたいのために」(日・月・祝休廊)																																	
①	一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013		常設展(日本画・洋画)																																
①	芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		貸画廊受付中															ねむるシルクとの再開 第17回着物リフォーム展(藤井美智子)																	
①	絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展																																
①	延寿堂ギャラリーソフォア 中京区二条寺町東入 211-5552	飯野夏実 ピサンキ&陶展(木曜休廊)					長谷川美徳-灰釉-陶展(木曜休廊)					澤克典										→11/15													
		御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083					田代和子展																									洋画・日本画常設展(日・祝休廊)			
①	カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		常設展(月曜休廊)										秋野不矩・浅野均・川端健生 小池一範・小嶋悠司・中野弘彦																						
①	画廊おかざき 岡崎平安神宮道 761-0027		現代工芸作家常設展																																
①	画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062		日本画常設展																																
①	画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊受付中																																	
		画廊彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468		常設展(土・日・祭日休廊)																															

①：企画および常設を中心に活動する画廊 ②：貸画廊

新しい伝統—上海当代芸術展

と き／9月30日(金)～10月23日(日) 12:00～7:00PM
 ところ／三条祇園画廊(火曜休廊)
 京都市中京区河原町三条東北角 ☎075-221-6401

躍進する中国。その象徴的な都市「上海」。発展しつづける「上海」はエネルギーにみちあふれています。そのエネルギーと矛盾を内包し、アートとしての世界を構築するアーティストたち。今回、日本ではあまり知られていない上海の抽象絵画に焦点を当て、世界に活躍する5人の作家の作品をご紹介します。さまざまな体験と深い思索に裏打ちされた個性豊かな表現方法で描く作品を通じて、躍進する中国現代アートの多様性と可能性をぜひ感じてみてください。

5人の個性を、中秋の佇まいが美しい「圓光寺」と京都の街中のふたつのギャラリーの三箇所でごらんいただけます。9月30日(金)～10月23日(日) ※圓光寺会場のみ10月10日(月)まで

- Gallery Kajikawa C.A.O. (寺町通御池上るトミタヤビル2F) 火曜定休 12:00→18:00
- 三条祇園画廊(河原町三条角) 火曜定休 12:00→19:00
- 圓光寺(京都一乗寺小谷町13番地) 会期中無休 10:00→16:30 志納料

アーティストプロフィール

潘微 Pan Wei パン・ウェイ (写真1)
 1962年上海生まれ。

1990年代、日本に留学し現在も日本との関係が深い。漢字や象形文字をモチーフにさまざまな形に変化、集積させ、その文字の本来の意味を問う作品を描いている。今も武蔵野美術大で客員教授として書を教えている。

黄渊青 Huang Yuan Qing ファン・ユアンチン (写真2)
 1963年上海生まれ。

自然の風景のエッセンスを抽象的に表現する。色使いがさわやかで、都会的なセンスを感じさせる。中国だけでなく、韓国、ヨーロッパ各地、日本でも発表を重ねている。

曲豊国 Qu Feng Guo チュー・ファンゴ (写真3)

1966年上海生まれ。

以前は、画面を横切る多色のストライプが織物のように重なる作品を描いていたが、近年は、背景に吹流し模様のような有機的なかたちが現れ、その上にキララ色のストライプが走る画面に変化している。

現在、上海戯劇学院美術学部教授。

陳墻 Chen Qiang チェン・チャン (写真4)

1960年上海生まれ。

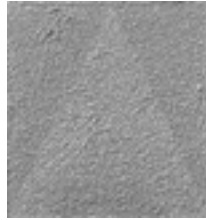
星・星座をイメージさせる特徴的なドットで画面を構成する。キャンバスに描かれたドットの凸凹が強烈な存在感を持って迫る。

現在、上海建築工程技術大学講師。

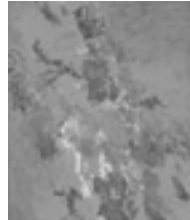
薛松 Xue Song スエ・ソン (写真5)

1964年 安徽省生まれ。

ダイナミックなカリグラフィや誇張的に表現されたモチーフを、焼いた紙の破片を使ってカラーージュする独特な「焼き紙カラーージュ」で知られる。繁体字中国語絵、古代のカリグラフィ、人々の芸術、宗教、シンボリックな人物、および歴史的な写真などを組み込み記号化することで自国の文化を表現する。



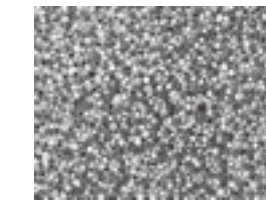
「文字合材料」43×39
 アクリル 2010年制作(写真1)



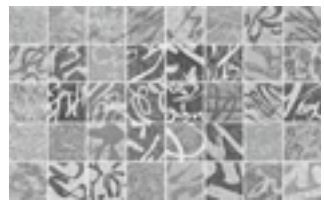
「世界2008 No.12」60×70
 油彩 2008制作(写真3)



「世界2008 No.12」60×70
 油彩 2008制作(写真3)



「作品10-7」100×120
 油彩 2010制作(写真4)



「意象書法」300×480
 2006-2008制作(写真5)

染谷 聡 展「うらがえりたいのために」

と き／10月1日(土)～10月29日(土) 11:00AM～7:00PM
 ところ／イムラアートギャラリー
 京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31 ☎075-761-7372

染谷の作品の特徴は、“もの”(いきもの等)をモチーフに、原型を粘土で作し、乾漆技法を用いて制作しています。また、作品の表面には、作家自身の興味や日常が、文字、文様、マンガなどが、漆の加飾技法の一つである、蒔絵によって描かれています。

伝統ある漆芸装飾の様式美、伝統技法を取り入れながら、現代的な感覚で描かれる漆の加飾は、観る者の目を楽しませます。制作行程で、時間的、環境的制約を余儀なくされる漆と向き合う中で、素材が持つ様々な可能性、性質を理解し、ここ数年で多様な作品を制作してきました。塗椀、寿司桶、風呂椅子、神棚、米、人毛、枝、アクセサリーなど、様々なものが作品に取り込まれ、染谷の独特な美意識、遊び心が感じられます。展示空間、展示方法、作品タイトル、語感、それら全てにおいて「かざる」という一貫したテーマの下、漆という素材を通じ、染谷らしいオリジナリティを生み出しています。

最近「漆とあそぶ」という感覚を特に大事にしていると言います。そのなかで、漆が持つ、しっとりとした、瑞々しい皮膚のような質感から、人体をより意識するようになり、皮膚に残る、しみや傷、皸といった痕跡をも加飾の一部と捉え、それらも一種の「かざり」と考えるようになったと言います。新作では、丸みを帯びた女性の体の曲線、重なりあう体の部位が表れ、そこに漆の艶が加わり、官能的な印象を受けます。

◆今回の展覧会タイトルは「うらがえりたいのために」。「作品を作る行為が、自分自身をペロンと裏返し、自分の内部に探し物をしているような感じ、になれば楽しそう。でも、今はまだまだ何もわからない途中なので“のために”です。」
 染谷 聡

- 1983 東京都生まれ
- 1984 インドネシアに暮らす(-90)
- 2006 京都市立芸術大学 工芸科卒業
- 2011 京都市立芸術大学大学院 博士課程漆工領域満期退学

主な個展

- 2008 「Heritage of S exhibition」ギャラリー恵風(京都)
- 2009 「御獣おけものー」イムラアートギャラリー(京都)
- 2011 「うらがえりたいのために」イムラアートギャラリー(京都)

主なグループ展

- 2006 「ANDO×SOMEYA exhibition」石田大成社ホール(京都)
- 2007 「ART RAINBOW PROJECT」KUNSTHALL ROS-TOCK(ドイツ)
- 2009 「自宅から美術館へ-田中恒子コレクション展」和歌山県立近代美術館
- 「現代工芸への視点-装飾の力」東京国立近代美術館工芸館(東京)
- 2010 「観〇光」圓通寺・二条城(京都)
- 2011 「ポップ? ポップ! ポップ? コレクションに見るポップなアートの50年」和歌山県立美術館



「はるのあきのみそしるのゆげの」2011
 漆、粘土、合鹿椀、金、銀など 17×72×45cm

〔今月の展覧会より〕

申 泰洙 (シン・テス) 個展 “心は目を妬むー申泰洙の旅情”

と き／10月4日(火)～10月9日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／堺町画廊
京都市中京区堺町通御池下ル ☎075-213-3636

去年に引き続き2回目の堺町画廊での個展。

水墨画に淡彩をほどこした風景画作品20点あまり。作品はすべて、伝統的手法で作られた韓紙に描かれる。里山の自然と人々の生活が調和した、独特の静謐感ただよ世界を描く。

昨年の個展では、彼の故郷に近く、現在の本拠地でもある安東周辺を題材としていた。この一年、はじめて日本を訪れた濁りの無い目で、京都周辺のスケッチ旅行を数回試みたという。山河に溶け込むように建てられた朝鮮時代の亭屋など、故郷の風景に加えて、今回は、京都、近江八幡、京丹波町下山の風景を描いた意欲的作品も加わる。

8日16時～「作者と語る」

略歴

1962年 韓国慶尚北道、義城生まれ
1986年 国立安東大学校 美術学科卒業
1998年 嶺南大学校大学院 東洋画科卒業

現在、韓国美術協会会員、二水会会員。
グループ展、個展を二年ごとにソウル、大邱、安東で開催。
雅号は易斎（イジェ）。慶尚北道・安東在住。



「近江八幡、民家の春」



「京丹波町下山の紅葉-1」

一瞬の劇場 Elliott Erwitt展

と き／9月3日(土)～10月23日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館 (月曜休館 但し祝日は開館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

エリオット・アーウィットは、世界的なフォトジャーナリストの第一人者として、ケネディやニクソン、フルシチョフ、カストロ、ゲバラをはじめ数々の歴史的人物や20世紀の社会情勢をとらえ、フォトジャーナリズムに彼自身の視点を加えたマグナム第二世代の代表的写真家として高く評価されています。

ロバート・キャパの推薦により、若干25歳にして世界を代表する写真家集団マグナムの一員となったエリオットは、報道写真と共に、ウィットとユーモアに溢れた作品も数多く発表し、1966から2年間、マグナムの会長も務めました。

また、マリリン・モンローを世界に送り出した、地下鉄の通気口の風で舞い上がるスカートを押さえるあのシーンもエリオットの撮影です。

写真に写された物語は私たちに、見知らぬ誰かの人生に出会う機会を与えてくれます。エリオットの作品に溢れる愛情はまさに彼そのものであり、あらゆる物事に寛容に愛を持って受け止めることの大切さを教えてくれることでしょう。

本展では、何必館・京都現代美術館が所蔵するオリジナルプリント約60点を「一瞬の劇場」「小さな隣人」「日常のドラマ」「モノクロームの記憶」という4つのテーマで構成し、展覧いたします。この機会に是非ご高覧下さい。

○記念出版『エリオット・アーウィット写真集』 2,800円
www.kahitsukan.or.jp



「マリリン・モンロー、ニューヨーク」
1956



「チェ・ゲバラ、ハバナ、キューバ」
1964

第2回 寄菴・杉村邦彦書画展

と き／10月22日(土)～10月28日(金) 10：00AM～6：00PM

ところ／ギャラリー創 (水曜休廊)

京都市中京区河原町御池上ル・ヤサカ河原町ビル1F ☎075-251-0522

杉村邦彦先生から、「数年来書きためてきた書画の展観を一」と伺い、「私共で」と二つ返事で、今回の展覧会が実現致しました。

聞き及ぶところ、先生はご幼少の頃から書を学び、大賞等を受賞しておられるとのこと。その後、学究生活に入られた後も、ご研究の傍ら書画の揮毫を続けて来られました。王恰之を始めとする中国古今の名筆を広く渉猟した典雅な書と、清末文人の風格を髣髴させる画の展観を楽しみに致しております。

今回は、杉村先生のお作品に加えて、正田益嗣・山本六郎両先生、ご令姉山崎溪花氏の賛助出品もございます。従来の私共の展観とは、多少傾向を異に致しますが、何か新しい発見がありそうで、わくわく致します。

尚、10月23日(日)午後3時より当ギャラリーにて、「私の書学研究と書画の揮毫」と題しまして杉村先生によるギャラリートークがございます。ご高覧賜りますようご案内申し上げます。

ギャラリー創 山本順子

杉村邦彦ギャラリートーク

「私の書学研鑽と書画の揮毫—自作の解説を兼ねて—」

10月23日(日) 15：00PM～16：00PM

寄菴・杉村邦彦 略歴

昭和14年生まれ。

京都大学文学部史学科東洋史学専攻卒業。

同大学院文学研究科博士課程修了。

現在、京都教育大学・四国大学名誉教授。

書論研究会会長、『書論』誌主幹。

書学書道史学会名誉会員。

第8回蘆北賞・第5回立命館白川静記念東

洋文字文化賞受賞。

主著に『書苑彷徨(第一集～第三集)』

『墨林談叢』

『中国書法史を学ぶ人のために』

『書学叢考』

『書論』既刊37号などがある。



「牽牛花図」



「苦筍図并賛」

夜明けに吹く風・ジーン・マン新作展

と き／10月15日(土)～11月6日(日) 1：00PM～7：00PM

ところ／ギャラリー宮脇 (月曜定休)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

ピカソやエルンストの扱いで知られるジュネーブの歴史的画商ギャルリイ・クルジエで今春個展を開催し、アート・バーゼルにも出品したジーン・マンは、セルフポート・アーティスト＝アウトサイダー・アートの流れから現代絵画の超新星として注目を集めたばかり。

無作為なリズムを打ちながら素手でキャンバスを塗り込み、無造作に引き裂いた紙片を貼り重ねる、まるでシャーマンの憑依行為のような創造過程から、衝動的で感情的で意表を突く表現が生み出されている。

本展表題作ではレリーフ状の「顔」の小タブロー45点が壁面にずらりと並ぶ(写真1)。魔法のように立ち現れた群像の各々が密やかに息吹き、それが集積して大きな風を巻き起こす。ほかにも、猛烈に波打つ線がおもしろいLP盤ペインティング(写真2)や、転写ドローイングの線が独特のテクスチャーを生む蛇腹ブック絵本(写真3)など、ユニークな形態の作品で鑑賞者を驚かせ喜ばせる。

日本＝当画廊に於ける3年振り4度目の新作展。初日は夕刻作家来日レセプションがあります。



写真1



写真2



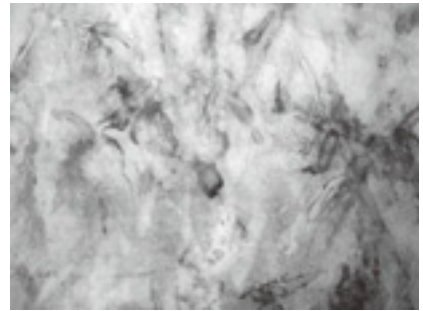
写真3

兼 若 和 也 展

と き／10月23日(日)～11月6日(日) 10:00AM～7:00PM
と ころ／村田画廊 (会期中無休)
京都市左京区松ヶ崎泉川町18-4 ☎075-703-8960

世界中のどこへ行っても、染み込んだ匂いは消えない。それは私が生きてきた足跡であり証明であり足枷であり瑕瑾であり矜持である。逃げるわけでも追いかけるわけでもなく、ただ在り続けることのなかで、私が溶かし込んだ色が臍長けたものに生まれ変わって、誰かに新しい温度を伝えられたらと思う。

兼若和也



「あふれる (部分)」 111×32cm

兼若和也略歴

- 1971年 香川県丸亀市に生まれる
- 1994年 京都市立芸術大学日本画科卒業
- 1996年 “よんでん文化振興財団奨学生ふるさと美術展” 同'99.01.04.07'10
[香川、高松市美術館]
- 1999年 個展 [京都、ギャラリーそわか] 同2001年
- 2000年 個展 [京都、SANBIDO GALLERY四季] 同'02.03
- 2001年 個展 [京都、(株)石田大成社 TEA ROOM & GALLERY ACCESS]
- 2002年 個展 [京都、大雅堂 “嘴矢祭 其之八十六”]
- 2002年 個展 [兵庫、神戸阪急百貨店]
- 2003年 個展 [京都、(株)石田大成社 ITPホール]
- 2003年 第9回 “尖展” 出品 以降毎年
- 2004年 個展 [京都、スペースki]
- 2006年 “京都若手作家による新世代の日本画展” 出品 大丸 (京都) 同'07 (京都/大阪)
- 2008年 “Ma : New Traditions In Nihonga” [NY、Dillon Gallery]
- 2011年 “三人展” [京都、ばるあーと]



「茶の微温」 13×9cm



「あふれる」 17.9×13.9cm

特別展覧会 珠玉の永青文庫 細川家の至宝

と き／10月8日(土)～11月23日(祝) 9:30AM～6:00PM
と ころ／京都国立博物館 (祝日以外の月曜と10/11休館)
京都市東山区東山七条 ☎075-541-1151

東京目黒にある永青文庫は、旧熊本藩主であった細川家が所蔵する宝物を永く護り伝えていくために、1950(昭和25)年に第16代当主の護立により設立された。その所蔵品には歌人としても著名な初代藤高(幽斎)、千利休の高弟のひとりでもあった2代忠興(三斎)をはじめとする細川家に伝来してきた武器、武具、文書、絵画、工芸品などに加えて、護立によって収集された刀剣、中国美術、近代の絵画などバラエティに富んでいる。その総数は8万点を超え、ひとつの家に伝来したものとしては日本有数のコレクションである。



菱田春草「黒き猫」
(後期展示)

細川家は京都とのゆかりが深く、初代藤孝が織田信長のもとで頭角を現し同家繁栄の基礎を築いたのが長岡京市の勝龍寺城(青龍寺城)を居城としていた時期である。また菩提寺も京都・建仁寺の塔頭永源庵(現在の正伝永源院)。永青文庫の名は、両者の最初の一字をとったもの。その所蔵品を一堂に会する展覧会が京都で開催されるということは意義深い。

展覧会は、前半が細川家に伝来した作品、後半が護立にコレクションを中心に構成されている。歴史を見抜いた確かな目が選んだ名品から、さらに厳選された至宝の数々だ。



三彩宝相華文三足盤



細川藤孝(幽斎)像
桃山時代



利休尻ふくら

会場		日曜	1土	2(日)	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9(日)	10(日)	11火	12水	13木	14金	15土	16(日)	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23(日)	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30(日)	31月
企	画廊 たつ	日本画常設展																															
貸	画廊 ビーナス	風画展 童画イラスト					第4回インフィニティ展 (写真)										紅葉の山野																
貸	ぎおんギャラリー八坂	しょうこイラスト展 (舞台) 藤本祥子																															
貸	ギャラリー 青い風	青い風19人展 (日本画、洋画、版画、染色)					休廊					青砥会展 (日本画)					荒金泰重子展 (日本画)																
貸	ギャラリー いちかわ	貸画廊予約受付中																															
貸	ギャラリー M	イスタンブールとベリーダンスを描く展 (松本祐佳)										ギリシャ・サントリーニ島 思い出の旅展 (松本祐佳)																					
貸	ギャラリー 押小路	常設展																															
貸	ギャラリー カト	1F 風彩会展	アノニム					昭和美術会京都支部 小品展					四季彩会展					植田久栄個展															
貸	ギャラリー かもがわ	2F 立命館 RUI&N.L.展	山口了雄個展					燦の会展					四明展																				
貸	ギャラリー かもがわ	篆香印 社展					宮田啓子作品展 (油彩) - 地の記憶・土の踊り - (火曜休廊)										畠中光享作品展					→11/13											
貸	ギャラリー 河原町	手塚雄二挿絵原画展 "ささやかな日々"					島津退蔵者 写真展					小林弘和 京の風景画展																					
貸	ギャラリー 祇園小舎	今さらきの時展 山本信裕・東英					横田尚子 糸展					早川勝二・平井幹夫 二人展 切り絵・炎焼きの円舞					第11回 染めと 織り					香山勲 水彩画と木のクラフト展											
貸	ギャラリー 吉象堂	街道展					龍谷大学 写真部新人展					いのぼんば展 (旧日本電池OB絵画)					渋谷純遺作展					同志社大学スケッチ クラブOB展											
貸	ギャラリー 恵風	1F	市川裕隆展 (3日休廊)					比佐水音展					清水美沙展					堀香子展					→11/6										
貸	ギャラリー 佐野	2F 武田浪・ 藤波晃展	阿部順子展					直海香・東端哉子・堀井陽子展					福田季生展					第9回風・明日への軌跡- 金光男・西出元・濱田弘明					→11/6										
貸	ギャラリー 佐野	妙音展 (立体)										ハ、ハーン版2011展 (版画)																					
会場		日曜	1土	2(日)	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9(日)	10(日)	11火	12水	13木	14金	15土	16(日)	17月	18火	19水	20木	21金	22土	23(日)	24月	25火	26水	27木	28金	29土	30(日)	31月
企	ぎやらりい 思文閣	木田安彦の世界 第2章 祈りの道 三十三間堂から雲岡、チベットへ																															
企	ギャラリー 白川	舟越桂・山本桂右 2人展 (月曜休廊)																															
貸	ギャラリー 翔	櫻の会 日本画展	鳥村尚子展 (ハガキ絵、羊毛アート他)					川端英一 御器楽音陶展					橘高美保子 PAPER WORKS					游季会 日本画三人展															
貸	ギャラリー 16	伊藤祐子 展 (平面)	藤原勝彦展 (映像インスタレーション) (月曜休廊)					森 繁久展 (平面作品) (月曜休廊)					田中広幸展 (古本によるインスタレーション) (月曜休廊)					早崎真奈美展 (紙(切り絵)によるインスタレーション) (月曜休廊)															
貸	ギャラリー 創	常設展 (鴨居玲・熊谷守一・前田青頓・下保昭・林武・宮本三郎・正井和行・入江西一郎 他)										第2回寄菴 杉村邦彦書画展										→11/1											
貸	ギャラリー 象鯨	常設展 (貸ギャラリー受付中)																															
貸	ギャラリー 高倉通	常設展 (日本画)					岡田房子洋画展 (花のファンタジア)					仏画「瑠璃の会」展					大橋庄司 水墨画展 「不二の相(すがた)を求めて」																
貸	Gallery ちいさいうち	岡村澄蒼書展					植木善三郎油絵展					岡村澄蒼書展																					
貸	ギャラリー 鉄齋堂	常設展 (6・9・18・19・28・29日休廊)																															
貸	ギャラリー 知(とも)	近藤直人展「独りよがってる展」 (会期中無休)										京都造形芸術大学グループ展 「しあわせ展」																					
貸	ギャラリー なかむら	神内康年展 - ON THE FLOOR - (月曜休廊)																															
貸	ギャラリー 中井	三人展	鈴木柁男展					京都アソシエイツ					西山 喬展					よにんてん															
貸	ギャラリー はなうさぎ	100m 6 大橋伸博 (陶)	井川淑志 (平面)					山口まなみ (インスタレーション)					茨木佐知子 (平面)					入澤あづさ (漆)					西嶋みゆき (インスタレーション)										
貸	ギャラリー 白梅園	白崎信子 ガラス作品 常設展																															
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F たくまた文子 東陽口蔵	田島征彦展「そうべえ竜宮城へゆく」 原画と型染展					栄永大治郎展 (油)					今村花子展 (油)					谷なつ子展 有年博行展 (版)															
貸	ギャラリー 美楽堂	日本画常設展																															
貸	ギャラリー マロエ	3F	黒田かおり展 (平面)					池田勝俊展 (日本画) (月曜休廊)					今~toki~展 (日本画)																				
貸	ギャラリー マロエ	4F	eM展 (日本画・ガラス・桐箱)					「海馬はいつかける」(洋画)					仁尾敬二展 (染織)																				
貸	ギャラリー マロエ	5F											京都芸大陶磁器専攻院生展					樋口和也展 (金属)															

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
貸	ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997	八田真那和		経画会TEN展										高友会					ひまわりの会															
企	貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	装展(月曜休廊) アトリエ・マンス(服)・風間紀子(オリジナルウェア)・中川真梨紗(フェルト)										清水香瑠ニット展 (月曜休廊)					→11/4																
企	貸	ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450	陶芸作品 常設展示										陶芸作品 常設展示																					
企	貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	龍馬と酢屋 常設展(11:00~17:00水曜休廊)										龍馬からの手紙展 (11:00~17:00水曜休廊)					休廊																
企	貸	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	桐村茜展(無休)					休廊					大道正男・陶展(水曜日休廊)					休廊																
企	貸	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	トルラ展		常設展(9日・10日休廊)										ジーン・マン新作展「夜明けに吹く風」(月曜休廊)					→11/6														
企	貸	ギャラリー百音(もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	シノザキハルオ油彩画展										アンティーク西洋美術展																					
貸	貸	ギャラリー ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館	1F	水画画 同好会		第16回墨翠会 水墨画展		井堂雅夫の世界と 雅堂会の仲間たち					土筆の会展(日本画)					第14回ジョイ展(色鉛筆、油絵)															
			2号館	2F	第61回京都日曜画家協会展					金曜会木版画展					第15回睦会透明水彩画作品展																			
			1号館	1F	清水久義バステル画展					京都大学写真部新人展					版画仏展(西田光衛)																			
			2号館	2F	藤岡延也・長森敬治2人展																													
貸	企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸しギャラリー受付中																															
企	貸	京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭										京のくらしの 文化展					→11/6																
企	貸	京都東急ホテルギャラリー-kazahana 下京区堀川通五条下ル 341-2646	IKIRU 松永恵子展																															
貸	企	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東河院東入 254-7902	万華鏡ファンタジー					和紙ちぎ り絵展					京都マンガ家協会 萬画展																					
貸	企	京町家ギャラリー桂風 下京区仏光寺高倉東 361-4146																																
企	貸	COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	素材と表現					坪田昌元展					→11/13																				
			2F	artco アートとともに過す日常					unknown memory - 未知の記憶 -																									
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		土		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	
貸	企	堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	アキノ イサム展		申泰洙展					奥倉玲展 (日本画)					大黒浩子展					西澤初美展														
貸	企	里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																															
企	貸	三条祇園画廊 中京区河原町三条東 255-3335	新しい伝統 - 上海当代芸術展(火曜休廊)																															
企	貸	蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	良中 展西		常設展(日祝休廊) 蔵丘洞ノ棚コーナー																													
企	貸	大雅堂 東大路通福園上ル 541-7388	常設展(コンセプトアリズムアート) (日・祝休廊)					e.g.g.o 0026 大井 梓展(無休)					常設展(コンセプトアリズム アート)(日・祝休廊)																					
企	貸	梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画・洋画常設展(日・祝祭日休廊)																															
貸	企	ヴォイス・ギャラリー 南区東九条若本町10 585-8458	pfs	現代美術二等兵 駄美術~無美術~					休廊					パフォーマンス LOST(有料)					休廊					これからのそれから(写真)					→11/5					
貸	企	ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7519	きらめく世界の万華鏡展										小山由寿・静陽二人展																					
企	貸	星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	明治・大正・昭和名作発掘品展																															
企	貸	MAEDAHIROMI ART GALLERY 中京区河原町二条上ル 090-3729-3780	新古書画常設展示(16日、月末休廊)																															
企	貸	松本松栄堂 中京区寺町夷川上 212-0626	常設展																															
貸	企	村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	-不易流行- 竹内浩一・ 村田茂樹展		常設展(火・祝休廊) 10:00~18:00										兼若和也展 (会期中無休)					→11/6														
貸	企	山総美術 岡崎平安神宮道 751-6333	山総	常設展										常設展																				
			シユマン	常設展					宇賀和子展(陶)																									
貸	企	ヤマモトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341	樋上千哲展					京都大学美術部 新人展																										
貸	企	龍枝堂画廊 中京区寺町二条上ル 252-4120	貸画廊受付中																															

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>